

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人福原学園 九州女子大学附属折尾幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・健康で明るく素直な子ども
- ・自立心と協調性に富む子ども
- ・優しく思いやりのある子ども
- ・意欲的で興味・関心の強い子ども
- ・挨拶、ありがとう、ごめんなさいが自分から言える子ども

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己評価を行うことにより、自らを振り返りコロナ禍の中でも、保育内容の充実や資質向上に努めることを目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価内容	評価の理由や取り組み内容
保育内容の充実	コロナ禍による見直しとして『行事の規模の縮小化・保育内容のブラッシュアップ』を行うことができた。
大学・地域との連携	大学の附属幼稚園の良さをよく捉えている。大学教授から専門的なことを学ぶ良い機会となっている。出来る範囲内での地域交流を行ってきた。
安全教育	警察署の交通安全教室を行うと共に、バス内での訓練や乗降の確認、欠席確認など全職員で情報共有し取り組むことができた。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

園全体で、目標について確認することで日々の保育を振り返りながら、園児にとってより良い幼稚園生活が送れるように、また幼稚園運営が行っていきけるよう、今後も具体的に計画を考え、職員間での共有を行っていききたい。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保護者との連携	園内行事への取り組みのプロセスや様子を伝えていきながら、細やかな配慮を持ち保護者との連携を繋げていく。
特別支援教育	個々に合わせた個別の支援計画の作成を行い、専門機関や家庭との連携を持ちながら支援の方法を考えていく。
地域との連携・交流	地域の一員として、小学校等と連携を持ちながら出来る事を考え、行っていく。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

大学教授や学生さんとの関りは、附属幼稚園の良さであり相互の学ぶ機会になっており価値のある交流だと思う。コロナ禍ではあるが、その中で何ができるのかを先生方が真剣に話し合い頑張りや努力がわかり、安心・安全そして笑顔の幼稚園であることを評価いたします。未就園児教室では、入園前に園の雰囲気や先生方を知ること、小さな不安も話すことができ、安心して入園をさせることが出来た。また、親子で貴重な体験を一緒に楽しめることと、先生の雰囲気もわかり、ファンが増えていくのではないかと思います。地域の信頼と地域を盛り上げる幼稚園として、良い関係性を築いていけることで、期待ができると思った。

委員会実施日 令和5年2月7日